

## 2018年度「個性のプレゼンテーション」について

試験科目	個性のプレゼンテーション(実技)
試験種別	推薦入試 一般公募推薦 特別選抜入試 社会人特別選抜 .....120分 特別選抜入試 海外帰国生徒特別選抜
用具(受験生持参)	黒鉛筆またはシャープペンシル(種類・数は問わない)、消具、色鉛筆(種類・数は問わない)、定規(種類・数は問わない)、鉛筆削りまたはカッターナイフ

### 出題のねらい

正解や不正解はありませんが、解答を通して見える「考えの道筋、発想、着眼点、構想力」などを、一人ひとりの個性として読み取ろうとしています。

リラックスして楽しみながら表現するうちに「あなたらしさ」がにじみ出るような、自然体の表現を期待しています。

### 評価のポイント

「分かりやすさ」「工夫」「説得力」を重視して評価します。「分かりやすさ」については、どのような物語を表現しようとしているのか伝わるのが重要です。

絵や文字の上手さは問いませんが、ていねいさは大切です。「工夫」とは、既成概念にとらわれない、あなた自身の視点や方法を具体的に示すことです。

「説得力」については、作品の意図や背景を、きちんと説明できているかどうかを見ます。

更には、あなた自身が日頃から感じていることや問題意識が反映されていることを期待します。

### 解法へのアドバイス

- ◎物語の時間軸が伝わる表現を心がける。
- ◎光と影、構図、絵と文章の配置を工夫する。
- ◎日頃の実感や実際の体験を活かせるような表現を考える。

## 2017年度 個性のプレゼンテーション問題(抜粋)

### ◎Q1

次ページの画像Aと画像Bの間におこる物語を想像し、所定の枠内(イメージ枠)に絵と文章で表現しなさい。タイトルもつけること。  
※複数のフレームを用いた絵コンテ形式で表現しても結構です。画像Aと画像Bの順序は自由ですが、画像順序枠に、その順序がわかるように記入すること。

画像A



画像B



### ◎Q2

Q1で制作した作品の意図を、具体的に説明しなさい。

## 解答例

2017年度 一般公募推薦

### 2017年度 名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科 適性検査 個性のプレゼンテーション 解答用紙

Q1 別紙の画像Aと画像Bの間におこる物語を想像し、所定の枠内(イメージ枠)に絵と文章で表現しなさい。タイトルもつけること。  
※複数のフレームを用いた絵コンテ形式で表現しても良いです。画像AとBの順序は自由ですが、画像選択枠に、その順序がわかるように記入すること。

タイトル枠

同じ音

画像選択枠

選択した画像の順序がわかるように「A」と「B」を記入すること

A → B

イメージ枠

①  
「ポチャ」「ポチャ」「ハイ!!」  
僕はよく親友と川に水切りをして行っていた。

②  
ある日突然、僕の親友は交通事故に遭ってなくなった。僕は突然の出来事に、泣くことすらできなかった。

③  
ところが、あの川に入ると、親友のことを思い出して、自然と涙が流れた。  
「あの日はもう無いな」

④  
「ポチャ」  
その日の音は、あの日々の音とは、まるで違った。

Q2 Q1で制作した作品の意図を、具体的に説明しなさい。

私は、初めAとBの画像を見て、水切りのことが頭に浮かびました。私も幼い頃、友人とよく水切りをして、楽しかった思い出があります。しかし、Aの画像からは何か静かさが感じられ、Bの画像からは、静けさや、悲しみのようなものが感じられました。主人公は、幼い頃の私のように、親友とよく水切りをして遊んでいました。ところが、ある日親友は交通事故でなくなった。その時、主人公は、あまりにも突然の出来事に、突感がわかず、涙が出ませんでした。そこで主人公は、よく遊んでいた川に入りに行きました。すると、涙があふけました。あの楽しかった日々は、もう来ることが無いと思うと、水が流れる音が、悲しい音に聞こえ始めた。私は、幸運なことにも、身近な友人が亡くなったということが、まだありません。卒業し、みんながバラバラになつていく中で、後悔がないよう、毎日を楽しんだり、感謝を伝えるなど、この時で終わったことや、このことという意図も含まれています。